



2023年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6262-3456

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	7,870	69.4	127		323		283	
2022年6月期第3四半期	4,645	0.6	994		316		419	

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 316百万円 (%) 2022年6月期第3四半期 416百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	27.96	
2022年6月期第3四半期	41.23	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年6月期第3四半期	6,734		577		7.2	
2022年6月期	7,381		973		11.6	

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 486百万円 2022年6月期 857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		5.00	5.00
2023年6月期		2.50			
2023年6月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	41.6	160		130	63.5	50	66.9	4.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	10,550,400 株	2022年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	2023年6月期3Q	425,823 株	2022年6月期	425,798 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	10,124,592 株	2022年6月期3Q	10,164,970 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

（1）経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による各種行動制限が緩和され、徐々に経済活動の正常化への動きが見られましたが、その影響は未だに続いております。またウクライナ情勢や急激な円安による原材料・原油価格等の物価高騰が続いており、未だ収束の兆しが見えないことから、先行き不透明な状況が続いております。

一方で、国際的な水際対策の緩和によるインバウンド需要の活性化や内閣官房からのマスク着用の考え方の見直し発表による人々の行動意欲の回帰など、ポストコロナに向けて経済正常化の動きが加速していくものと考えられます。

当飲食業界におきましても、経営環境は厳しいものとなりましたが、当社グループは飲食事業において、以下の通り新規7店舗をオープンいたしました。

いしがまやハンバーグ業態では、2022年8月、愛知県名古屋市の商業施設「m o z o ワンダーシティ」内にて、フードコートスタイル初出店となる「ハンバーグ&ステーキ いしがま工房」、2022年11月、大阪府堺市の商業施設「ららぽーと堺」内にて、関西2号店となる「いしがまやハンバーグ ららぽーと堺」、の2店舗をオープンいたしました。石窯で焼き上げる肉の旨味がたっぷり詰まった究極のハンバーグと厳選されたこだわり牛のステーキをご堪能いただけます。

VEGEGO業態では、2022年11月、大阪府堺市の商業施設「ららぽーと堺」内にて、関西2号店となる「VEGEGOオヌレシクタン&cafeららぽーと堺」、千葉県柏市の商業施設「セブンパークアリオ柏」内にて、「VEGEGOオヌレシクタン&cafeセブンパークアリオ柏」、愛知県春日井市の商業施設「イーアス春日井」内にて、VEGEGO業態の中部地方初出店となる「VEGEGOオヌレシクタン&cafeイーアス春日井」、2023年2月、埼玉県さいたま市の商業施設「イオンモール浦和美園」内にて、「VEGEGOオヌレシクタン&cafeイオンモール浦和美園」、の4店舗をオープンいたしました。店名のオヌレシクタンは韓国語で今日の献立という意味があり、日本でも人気のある石焼ビビンバ・純豆腐・参鶏湯・チヂミ・カルビ・ブデチゲなどをメインとする定食スタイルの豊富なメニューを取り揃えており、何度来ても違った味をお楽しみいただけます。

焼き肉業態では2022年11月、東京都昭島市にて焼き肉業態の2号店、当社ロードサイド店舗として初出店となる「肉の満牛萬 昭島」をオープンいたしました。肉の満牛萬は都市部立地と郊外ロードサイド立地の双方で展開可能な業態に育てていくことを目標として、郊外ロードサイドで市場を拓ける他の焼肉食べ放題ブランドとは一線を画したお客様満足を生み出し、焼肉屋の新たなスタンダードを確立してまいります。

プラットフォームシェアリング事業については、外食企業向けの更なるプラットフォーム強化を進めると共に、異業種のブランドホルダーに対する出店支援コンサルティング業務の提供も増加しており、今後につきましても、あらゆる可能性を模索しながら、事業の拡大に努めたいと考えております。

フランチャイズ事業については、ハンバーグ業態にて、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、7,870百万円（前年同期比69.4%増）、営業損失127百万円（前年同期は営業損失994百万円）、経常損失323百万円（前年同期は経常利益316百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失283百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益419百万円）となりました。

なお、当社グループはセグメント情報の記載を省略しているため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は6,734百万円となり、前連結会計年度末と比較して647百万円減少しております。

流動資産合計は3,973百万円となり前連結会計年度末と比較して1,071百万円減少しております。減少の主な要因は、現金及び預金が891百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産合計は2,760百万円となり、前連結会計年度末と比較して423百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が379百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,157百万円となり、前連結会計年度末と比較して250百万円減少しております。

流動負債合計は2,028百万円となり、前連結会計年度末と比較して290百万円増加しております。増加の主な要因は、その他の負債が172百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は4,128百万円となり、前連結会計年度末と比較して541百万円減少しております。減少の主な要因

は、長期借入金が508百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は577百万円となり、前連結会計年度末と比較して396百万円減少しております。減少の主な要因は、利益剰余金が359百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年8月12日公表の「2022年6月期決算短信」に記載のとおり、業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,561,364	2,669,388
売掛金	257,342	396,579
原材料及び貯蔵品	89,429	95,089
未収入金	233,433	73,448
その他	903,448	739,446
流動資産合計	5,045,018	3,973,951
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	816,625	1,012,522
その他(純額)	133,813	317,415
有形固定資産合計	950,438	1,329,937
無形固定資産		
のれん	63,636	58,310
その他	102,911	114,146
無形固定資産合計	166,547	172,456
投資その他の資産		
投資有価証券	77,405	97,405
差入保証金	839,101	869,714
繰延税金資産	302,080	288,509
その他	2,029	3,310
貸倒引当金	△845	△840
投資その他の資産合計	1,219,771	1,258,099
固定資産合計	2,336,758	2,760,494
資産合計	7,381,776	6,734,445
負債の部		
流動負債		
買掛金	249,740	341,086
1年内返済予定の長期借入金	678,564	678,564
未払法人税等	43,365	32,052
賞与引当金	—	29,557
株主優待引当金	—	9,185
その他	766,196	938,373
流動負債合計	1,737,866	2,028,820
固定負債		
長期借入金	4,453,155	3,944,232
資産除去債務	67,353	66,579
その他	149,405	117,397
固定負債合計	4,669,913	4,128,209
負債合計	6,407,780	6,157,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,530	381,530
資本剰余金	495,518	494,504
利益剰余金	145,919	△213,117
自己株式	△170,204	△170,218
株主資本合計	852,764	492,697
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,662	△5,833
その他の包括利益累計額合計	4,662	△5,833
新株予約権	77,865	34,276
非支配株主持分	38,704	56,275
純資産合計	973,996	577,416
負債純資産合計	7,381,776	6,734,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,645,183	7,870,785
売上原価	1,397,614	2,229,811
売上総利益	3,247,568	5,640,974
販売費及び一般管理費	4,242,020	5,768,768
営業損失(△)	△994,451	△127,793
営業外収益		
受取利息	1,385	590
助成金収入	969,481	60,831
暗号資産評価益	369,426	—
その他	4,375	6,394
営業外収益合計	1,344,668	67,816
営業外費用		
支払利息	19,962	16,411
支払手数料	931	1,119
暗号資産評価損	11,409	235,277
その他	1,114	11,208
営業外費用合計	33,417	264,016
経常利益又は経常損失(△)	316,800	△323,993
特別利益		
新株予約権戻入益	—	47,515
助成金収入	764,272	12,432
特別利益合計	764,272	59,947
特別損失		
店舗臨時休業による損失	388,454	—
特別損失合計	388,454	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	692,618	△264,046
法人税、住民税及び事業税	36,215	30,024
法人税等調整額	243,481	13,570
法人税等合計	279,697	43,595
四半期純利益又は四半期純損失(△)	412,920	△307,641
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,165	△24,539
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	419,085	△283,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	412,920	△307,641
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,461	△9,016
その他の包括利益合計	3,461	△9,016
四半期包括利益	416,381	△316,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,155	△293,598
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,773	△23,059

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループは「飲食事業」「プラットフォームシェアリング事業」及び「フランチャイズ事業」を行っております。当社グループの報告セグメントは「飲食事業」のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

当連結会計年度の第2四半期報告書（追加情報）に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。